

令和元年度第1回狭山市社会教育委員会議 会議録

開催日時 令和元年5月29日(水)
14時00分から16時10分まで
開催場所 市役所6階 602・603会議室
出席者 向野教育長
西村委員 高橋委員 江頭委員 小川委員
角田委員 齊藤委員 黒川委員 小熊委員
吉田委員 江上委員 八瀬邊委員 横山委員
高久委員
欠席者 野村委員 千装委員 井堀委員 新井委員
今福委員 近藤委員 小林委員
事務局 滝嶋生涯学習部長 田中社会教育課長
三浦 小暮 山口
傍聴者 0名

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ 教育長

4 委員・事務局職員紹介

5 あいさつ 西村議長

6 議 事

(1) 社会教育関係団体に対する運営費補助金について

・社会教育関係団体運営費補助金について、事務局から補助金交付団体の各団体の概要及び主な活動、各団体の交付確定額と交付予定額について説明

議 長 交付金額の是非ではなく、各団体の事業の内容について議論を行ったほうがよいか。

事務局 交付金額の是非ではなく、各団体の活動内容についてご理解いただき、

補助金の交付について承認をいただければと考えている。

※委員より交付額の多いPTA連合会の補助金の使用目的について補足説明あり

委員 表中の自己収入比率というものは自己財源という理解でよろしいか。

事務局 そのとおりである。

委員 現在の5団体以外から補助金要請がないのか、また仮に他の社会教育団体から要請があった場合、受付窓口はあるのか。

事務局 この補助金は社会教育団体の連合体に対して交付するものなので、昨今ではそのような要請は受けていない。相談受付窓口は社会教育課である。

委員 PTA連合会が実施している「こども110番の家」については、個人宅の方の高齢化が目立つが、お願いしている方の見直し等を行う予定はないのか。

委員 各PTAで実施し、現在お願いしている方についても、年に数回コンタクトをとっている。

委員 PTA連合会の活動については、家庭教育学級の参加者が少ないので、入り口を広くし、まず参加してもらうことが大事なのではないかと考える。

委員 現在は母親も働いていることが多く、参加が難しいのでは。

委員 家庭教育学級の参加者が少ないというのは、PTAに限らず各団体共通の悩みだと考える。参加者の増やし方等の考え方については、全団体に通じるものがあると思うので、何かしらのヒントになるのでは。

(2) 平成30年度社会教育関連事業実施状況について

・平成30年度社会教育関連事業実施状況について概要を事務局より説明

委員 生涯学習まちづくり出前講座について、どのような内容の依頼が多く、依頼の多い年代は。

事務局 依頼内容は防災関係が一番多く、50代、60代が中心になっている。

委員 参加者が多い講座も防災が多いのか。

事務局 そのとおりである。

委員 防災以外で人気のある講座はどのようなものがあるか。

事務局 手元に資料がなく、後日回答する。

委員 生涯学習情報コーナーの相談者の相談内容について分析等をおこなって

いるか。相談内容によって狭山市の今後の生涯学習の方向性やあり方が見えてくるのではないか。

委員 生涯学習情報コーナーの業務内容及び主な相談内容等について補足説明があり、集計結果については、社会教育課で把握をしている。

委員 コミュニティ・スクールの進捗状況（地域についての状況）を確認したい。

事務局 柏原小中学校で運営協議会がスタートした。入間川小中学校については6月に会議を開催する予定である。

委員 コミュニティ・スクールの地域の主体は学校応援団となるのか。

事務局 そのとおりである。

委員 柏原地区がコミュニティ・スクールのモデルに選ばれた理由は。

事務局 所管は学校教育部であるが、試行段階であるため、基本的に小中学校が隣接しており、学区が一致している地区を選んで実施したと聞いている。

委員 コミュニティ・スクールのモデル校は、小中一貫校を目指して設置したという話があったと思うが。

事務局 小中一貫という考え方を持っているが、物理的な小中一貫は考えていない。

委員 出前講座の防災関係の講座を受講したが、職員の説明がわかりやすく好評であった。

委員 生涯学習ボランティアについては、登録件数のみで実績が記載されていない。市民の方が自分でボランティアとして登録しているものなので、どのように利用されているかという視点でも報告をしてもらいたい。

事務局 平成29年度は372件の利用実績があった。平成30年度についても改めて報告させてもらいたい。

委員 学校応援団については、延べ人数が減少しているが。

事務局 減少した理由は、今後、分析する。

議長 地域学校協働本部については、平成28年度、平成29年度に社会教育委員会議で議論をおこなったものなので、提言書をもう一度読み返し、参考にしてもらいたい。また、学校・PTAに対する興味が多い。来年度、再来年度以降の社会教育委員会議の議題に取り上げてもらいたい。

(3) 令和元年度社会教育委員会議の予定について（事務局より説明）

- ・元年度は年3回の開催とし、内容については現在の第5次狭山市生涯学習基本計画の期間が令和2年度末までとなるため、令和3年度より実施予定の第6次狭山市生涯学習基本計画の策定に関する議題をメインとする。
- ・10月開催予定の第2回会議ではアンケート調査（民間のコンサルを活用予定）の内容等について協議を、3月開催予定の第3回会議ではアンケートの単純集計の結果などを見据えて第6次計画の方向性を協議していただきたい。
- ・事務局の素案がある程度できた段階で、委員にはメールによる情報提供をさせていただくので、事前にご検討いただいた上で意見のやり取りができればと考えている。
- ・教育振興基本計画・スポーツ推進計画も同時期に改正となるため、広くご意見をいただければと考えている。

議 長 会議の回数については、昨年度、もう少し回数を増やしたほうが良いのではないかという意見もあったが、物理的な問題や今年開催の関東甲信越社会教育研究大会埼玉大会等があり、3回の開催でもやむを得ないと思うが、現在の社会教育全体の動向を文書・メール等で情報提供をしていただきたいと考えている。

(4) 第50回関東甲信越社会教育研究大会埼玉大会について（西村議長より説明）

- ・社会教育の分野では、県内で入間地区が一番進んでいるが、県内全体は一枚岩ではない状態である。そのような状態の中、主催共催欄に埼玉県教育委員会、後援協力にさいたま市教育委員会の名前が入ったことは画期的なことであり、県内一丸となって今回の大会を進めていこうとしている。
- ・入間地区は第5分科会を担当する。
- ・委員の方にも参加のご検討をお願いしたい。

委 員 協賛金については、NPO法人等の名称でも問題ないか。

議 長 問題ない。

委 員 昨年度の長野大会に参加したが、会場全体の熱量を実感した。人員の動員等の問題があり、皆の協力がないと成功はなかなか難しいと思う。他の

自治体の委員の方と交流でき参考になる点多かったので、参加をしていただければと考える。

7 事務連絡

- ・令和元年度西部地区人権教育実践報告会について
本年度は狭山市民会館で開催。社会教育委員の方2名のご出席をお願いしたい。
- ・第2回社会教育委員会議の日程について

委員 時間帯の夕方か夜の時間は何時からか。

事務局 17時、または19時開始を予定しているが、希望時間を記入して頂ければ考慮する。

- ・教育振興基本計画について

事務局 教育総務課に残部があるので興味のある委員の方はお声掛けいただきたい。

8 閉 会

高橋副議長からあいさつ